



千の手

犬山
つが おかんのん
継鹿尾観音
寂光院



修験道「役行者」



中興「慶源和尚」



開山「道昭和尙」

当山開創一、三五〇周年記念
「平成の大修理」

江戸中期作

開山「道昭和尙」像

中興「慶源和尚」像

解体修復

修験道「役行者」像

継鹿尾山寂光院は白雉五年（六五四年）孝徳天皇の勅願をもって南都元興寺の道昭和尙の開山と伝えられる尾張の古刹です。道昭和尙は入唐僧で、三蔵法師玄奘より法相教学を学ばれました。当山も法相宗の学問寺として「尾張に継鹿尾山あり」とうたわれ、後に臨済宗妙心寺の中興の祖（犬山瑞泉寺の開山）となられる日峰禪師を始め、宗派を問わず沢山の名僧博識が当山から出られました。

時移り永禄八年九月十八日織田信長公は当山に参詣の折、当山を清洲城鬼門鎮護の寺と定め、黒印五十石・山林五十町歩を寄進、以後当山は真言宗の寺となります。当山では織田信長公を「中興の祖」、時の住職・慶源和尚を「中興上人」と慕っております。

また当山は木曾川を見下ろす山寺ですので山岳修行の場でもありました。修験道の祖「役小角」は大変崇められ、前鬼・後鬼を従えた「役行者」像を拝する人は今も後を立ちません。

「一番大切なもの」は「命」に決まっています。さてこの命ですが、「命」があるということは「今生きている」ということです。命を失うということは「死ぬ」ということです。では生きている人と死んでいる人の違いは明白です。息をしているかしてないかです。早い話が命とは「息の力」、「生きる力」といっていいでしょう。

さて、この息ですが生まれる直前は母親が代わりに息をしていてくれました。誰でも「息の力・生きる力・命」は母親とつなが



「もったいあり」

犬山・寂光院山主

まつ だいら
松平 じつ いん
實胤

物もすべて「大いなるいのち」につながっています。すべてが「大いなるいのち」を戴いた尊い存在です。

この「大いなるいのち」を仏教では「仏」と捉えます。ですから今生きとし生けるものは凡て仏の命を戴いた尊い存在です。日本人はその「大いなるいのち」を「勿体（もったい）」と表現してきました。最先端の生命科学では「地球上の生物はすべて、DNAを基本物質とする細胞でできており、祖先を同じくする仲間」と断じています。モノにも仏の命宿る、「もったいあり」と言つて、モノを

っています。親のない子はいませんから、ずっと何代もつながっています。そのつながりは人類の起源まででしょうか。いや人類を生み出す生命の起源まででしょうか。それとも生命を生み出す地球の起源まででしょうか。宗教的にいえば、一番最初、一番の源は「大いなるいのち」と表現します。すべての命は「大いなるいのち」からずつとつながっています。私は「大いなるいのち」から「息の力・生きる力・命」をいただいで、今ここで息をしています。同様にこの世に存在する今息をしているものは動物も植

粗末にすると「もったいない」とたしなめてきたご先祖様に脱帽です。一枚の紙もかつて息をしていた植物を原材料としています。石油化学製品もかつてこの世に存在した生物が地中で長い長い時間をかけて石油化したものを原材料としています。

すべてに「もったいあり」、これが永久不変のこの世の「キーワード」です。すべての悪事、すべての不幸は勿体を粗末にすることから始まるといつても過言ではありません。

国登録文化財・本堂、随求堂

寂光院 平成の大修理

おかげさまで
あと一息・あと一步!!



随求堂 本堂



本堂 瓦屋根

「平成の大修理」事業概要

- 一、随求堂 解体修復・耐震・屋根替 **終了**
- 一、本堂 解体修復・耐震・屋根替 **終了**
- 一、本堂内 ご本尊脇仏二体 修復 **終了**
- 一、随求堂内 開山・中興祖師像他三体 **終了**
- 一、随求堂内 三十三観音三十三体 修復 **進行中**
- 一、付帯工事境内整備 **未着工**

おかげさまで

随求堂の本体工事は平成二十年十月末に、本堂の本体工事は二十一年十月末に竣工いたしました。
随求堂内の西国三十三観音像の内、残る十一体の解体修復と、欠損の二体の新像造立は平成二十二年十一月に完成の予定です。
また付帯工事は平成二十二年三月末の完工を予定いたしております。

「ご寄付勸募のお願い」

おかげさまで、あと一息というところです。できるだけ多くの方々に「平成の大修理」にご賛同いただきたく、皆様のお力添えを伏してお願ひ申し上げます。

平成二十一年十一月八日

合掌

寂光院山主 松平 實胤
 奉賛会会長 谷口清太郎
 副会長 桑原 正則
 副会長 社本 宮明

●ご志納方法

・現金での志納は、事務所で毎日受付いたしております。
 ・郵便振替での志納は、
 口座名 寂光院 0080014140664
 ・銀行振込での志納は、左記の口座にご送金ください。

口座名 宗教法人 寂光院

三菱東京UFJ銀行	犬山支店	普通	216157
名古屋銀行	犬山支店	普通	161134
愛知銀行	犬山支店	普通	623933
いちい信用金庫	犬山支店	普通	54195

今、若人に人気!

「平成の大修理」を終えた
古刹・寂光院の仏さまに
会いに行こう!

本堂では、ご本尊・千手観音、

右脇侍 不動明王

(等身大のお不動様)

左脇侍 毘沙門天

(等身大の毘沙門様)

がお待ちです。

随求堂では、ご本尊・随求菩薩をはじめ
三十三の観音様がお待ちかね!

【七七月まいり】

特に毎月五日と十八日の十時半から、
ご本堂で大護摩祈禱とやすらぎ法話が
ありますよ。まじかで仏様と対話もで
きます。是非憧れの仏さまにお参りく
ださい。

【生まれ年の仏さま】

千手観音さまは子年生生まれの守護仏
不動明王さまは酉年生生まれの守護仏
毘沙門天さまは寅年生生まれの守護仏
なお本堂脇には絶景の展望台があり十
二支すべての生まれ年の守護仏が一巡
できます。

【寅年の人!大集合】

平成二十二年寅年記念

毘沙門天王お厨子

「平成の大修理」

解体修復記念

108年
ぶり

信貴山

「毘沙門天王」

特別大開帳

時・毎月五日 十八日 十時半より



明治三十五年寅年に当山第二十一
世・岩田大法大僧正が奈良県信貴
山朝護孫子寺よりご本尊・毘沙門
天王のご分身を寂光院にお迎えさ
れてより、今年で十回目の寅年を
迎えます。信貴山毘沙門天王は本
堂向って右の弘法大師様のお隣に
おいでになります。
このたびの「平成の大修理」で一
〇八年ぶりにお厨子並びにお前立
ちを解体修復いたしました。
是非まじかでお参り下さい。

「平成の大修理」成満

記念大法要&秘仏千手観音大開帳

時・平成二十二年十二月十八日

おめでとうございました!

◎七七月まいり

五回満願八回記念

岩村榮子様、田島智慧子様

(延べ二八〇ヵ月、約二十五年間、七七月参りをされています)

岩村榮子 殿

八回満願記念

平成二十二年十月五日

田島智慧子 殿

八回満願記念

平成二十二年十月五日

五回満願七回記念

大竹喜久雄様、大竹美喜子様、仙田清子様

(延べ二四五ヵ月、約二十年間、七七月参りをされています)

◎お写経

八百巻奉納 田中美枝子様

◎健康300

寂光院本堂へ登頂三百回記念

福尾哲治様

七ヶ月お参りすると大願成就!!

月例行事

◎七七月まいり

- 五日 健康長寿 大随求尊縁日
- 十八日 一心祈願 千手観音縁日
- ・各十時半より、大護摩祈祷と松平山主の法話
- ・名鉄犬山遊園駅より臨時バス運行

「縁の日が」縁日

いつでも都合のよろしい日がご縁日。七七月まいりの受付は年中無休です。

◎やすらぎ説法 毎月第二日曜日 十一時

寂光院友の会 千手会ご案内

千手会は寂光院に心を寄せて戴いている皆様の集いです。千手会にはわずらわしい制約は一切ありません。千手会はすべて自由参加です。是非ご入会下さい（毎月の「やすらぎ説法」は千手会の催事です）

きりとり線

千手会申込書

正会員（一口三千元） 口 円
賛助会員（一口三万円） 口 円

住所 右 申込致します

氏名

おとし

電話

年 月 日

お写経の集い（般若心経を読む・聞く・書く）

とき 毎月第二・第四 日曜日午前十時

静寂な山寺のお堂の中でみ仏と対座して一心に筆を取る。般若心経一巻をお写しするのに一時間程かかります。

お写経の前には松平山主と共に読経 松平山主の法話

写経用具は当方にとり揃えてあります。お気軽にご参加下さい。

前田道雄 写仏教室

写仏はまったく初めての方を対象に基礎の基礎から始めます。

とき 毎月第三土曜日

午後一時

松平實城 ご詠歌教室



ご詠歌はまったく初めての方を対象にとても「楽しく」「優しく」教えて下さいます。

とき 毎月十八日 午後二時

寂光院への連絡方法

- ①電話 0568 (61) 0035
- ②FAX 0568 (61) 5953
- ③〒振替 00800-4-40664
- ④ホームページ

<http://www.jakkoin.com/>

発行所

継鹿尾観音 寂光院

千四八四一〇〇九一

愛知県犬山市継鹿尾山

平成二十一年十一月八日発行

(第四十五号)